

第25回 AIT サイエンス大賞開催要項

1. 趣 旨

科学技術立国および地域社会の未来を担う青少年を支援することを目的として、日頃の自然科学・ものづくり及び社会科学・地域づくりについての研究成果を顕彰します。

2. 部 門

「自然科学部門」

物理・化学・生物・地学・その他、自然科学の分野に属する調査・研究とその成果

「ものづくり部門」

機械・電気・電子・情報・化学・生物・建築・土木などに関する科学技術によるものづくり作品やその研究成果

「社会科学・地域づくり部門」

私たちの日常生活及び社会生活に関連した、経済・経営・情報・環境・防災・教育・福祉・少子高齢化などの諸問題や地域社会に関わった報告や提言などに関する科学的な調査・研究とその成果

(注) 部門選択にあたっては、「研究目的」(目的・目標)に基づいて選択して下さい。

AIやシミュレーション、実験などの「研究方法・手法」は、あくまで研究目的を達成するための手段であることにご留意いただき、最も相応しい部門へのエントリーをお願いします。

3. 応募資格・要件

- (1) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県の高校生
- (2) 論文内容は、原則として未発表のものに限ります。
- (3) 応募に際して、「代表者」は学校の教職員に限ります。ただし、複数校合同による応募の場合は、代表となる学校の教職員としてください。

4. 応募・参加決定方法

(1) 応募方法

- ・愛知工業大学ホームページ【AIT サイエンス大賞エントリーフォーム】から入力してください。
- ・部門「自然科学部門」「ものづくり部門」「社会科学・地域づくり部門」へのエントリーは、各学校各部門1テーマまでとします。

(2) 参加決定

Web エントリー時に各部門の「研究概要」及び「部門と研究の具体的関連性」について、それぞれ200文字～300文字以内で入力していただきます。

審査委員会において「研究概要」及び「部門と研究の具体的関連性」の事前審査を行い参加の決定をします。研究内容が部門に相応しくない場合は、部門の変更または参加が認められない場合があります。

5. 審査方法

提出された「論文」及び研究発表会における「ステージ発表」、「パネル展示発表」を総合して審査します。

6. 表彰

「自然科学部門」「ものづくり部門」「社会科学・地域づくり部門」共通

最優秀賞 賞状・盾及び副賞（10万円）

優秀賞 賞状及び副賞（5万円）

奨励賞 賞状及び副賞（1万円）

7. 全体スケジュール

(1) Web エントリー期間

令和8年7月13日(月)から9月6日(日)まで

(2) 論文提出締切（Word データ（Microsoft）及びPDF）

令和8年10月30日（金）厳守

(3) ステージ発表データ締切（Power Point）

令和8年11月15日（日）厳守

(4) 研究発表会

令和8年12月12日（土）

会場：愛知工業大学 八草キャンパス

9：00 受付・パネル展示準備

9：50 開会の挨拶（部門ごとステージ発表会場にて）

10：00～ ステージ発表

（昼食&休憩 60分）*昼食は主催者が提供

13：00～ パネル展示発表（16：00頃 終了予定）

※参加校数によりスケジュールは変動します。詳細はエントリー後に案内します。

8. 論文について

(1) 論文の書き方

A4用紙（45 字×40 行）、7 ページ以内でWord（Microsoft）にて作成してください。

※論文の書き方については、巻末にフォーマットを掲載しておりますのでご参照ください。

(2) 提出ファイル

論文データは、Word と PDF の 2 種類を提出してください。Word は元データとして、PDF は論文集公開のイメージおよび審査に使用します。

(3) その他

- ・ エントリー時のテーマと異なる場合は、論文のテーマで進めてまいります。
- ・ テーマ名は、論文・ステージ発表・パネル展示発表と全て統一してください。
- ・ 論文提出後のテーマ変更はできません。
- ・ 提出いただいた論文は、最終稿として、大学ホームページにおいて論文集をデータ公開します。

9. 研究発表について

《ステージ発表》

- ・ 会場ステージ上にて PowerPoint で 5 分間の発表です。
- ・ 発表前に「学校名」「テーマ名」を述べてから始めてください。
- ・ ハンドマイク、レーザーポインタを使用してください。
- ・ PowerPoint やレーザーポインタ操作は参加者で行ってください。
- ・ 発表時間の残り 1 分前にベルが 1 回鳴ります。5 分を経過したらベルが 2 回鳴りますので発表を終了してください。
- ・ 発表テーマ間の入れ替わりは 1 分です。
- ・ YouTube 配信、写真撮影は開催記録及び本学広報活動等に使用しますので予めご承知おきください。

《パネル展示発表》

- ・ パネル展示発表は、原則として縦 210cm×横 180cm の掲示パネルと長机 1 脚の範囲で行っていただきます。発表当日にポスター・作品の搬入をお願いします。
- ・ 電源を必要とする場合は、事前提出書類「AIT サイエンス大賞参加者名簿等及び電源調査」にご記入ください。
- ・ パネル貼付用のテープ・画鋲等をご持参ください。（パネルは構造上、画鋲で止めにくい箇所があります）
- ・ パネル展示発表審査の際は、発表者（生徒）への教員によるサポート、助言はご遠慮ください。

10. 審査基準

《論文審査基準》

- ・ 生徒自身によるアイデアであり、着想された作品であるか
- ・ オリジナリティ、ユニークな部分が見られるか
- ・ 研究に対して熱意、努力が見られるか
- ・ 継続的な研究テーマの場合、既発表のものと比較して進歩しているか
- ・ かかわった生徒の人数と、その成果の大きさが比例しているか
- ・ 文体が統一されているか
- ・ 結論が簡潔に記述されているか
- ・ 主語、述語が対応して分かりやすい文章になっているか
- ・ 図やグラフは理解しやすく、文章とのつながりは明確か
- ・ 他の文献やインターネットのコピーではないか、引用文献が明確にされているか
- ・ 単位は統一され、明確に表示されているか
- ・ 掲載写真は理解しやすいか（鮮明・大きさ）

《ステージ発表審査基準》

- ・ 発表内容の論旨は明快か
- ・ 論文に沿った発表内容か、滑らかに発表されているか
- ・ 話す速度、声の大きさ、言葉づかいは適当か
- ・ メモや原稿を棒読みしていないか、分かりやすく自分の言葉で発表しているか
- ・ 図と関連づけて説明しているか
- ・ 文字やグラフは会場の後方から見えるか
- ・ パワーポイントの枚数は適当か、持ち時間を有効に使って発表できているか
- ・ 発表者とチーム（生徒）は、礼儀正しく発表しているか

《パネル展示審査基準》

- ・ パネルのレイアウト、文字の数、大きさは、見やすくなっているか
- ・ 分かりやすく説明できるようにパネルや作品に工夫がしてあるか
- ・ 要領よく的確に自分の言葉で説明できているか
- ・ 質疑応答は、質問者の意図を正確に把握し、自分の言葉で述べられているか

11. 個人情報について

① 画像（写真・動画）使用の承諾のお願い

- ・ AIT サイエンス大賞当日、ステージ発表を YouTube 配信します。
- ・ 承諾していただいた画像及び動画は本学の広報活動以外には使用しません。
- ・ 本承諾の適用範囲には、本学公式のインターネット媒体（ホームページ、YouTube、ブログ等）及び外部メディア（中日新聞、テレビ）が含まれます。
- ・ プライバシー保護の為、写真及び動画等の使用媒体へ氏名の掲載はしません。

- ・写真及び動画等の使用期限はありません。
- ② 個人情報の取り扱いについては、催事連絡や業務遂行等円滑な運営のためにのみ使用することとします。なお、以下の場合を除いて第三者へ提供することはいたしません。
 - ・保護者の同意を得ている場合
 - ・法令に基づく場合
 - ・生命・身体を保護するために必要で、本人から同意を得ることが難しい場合

1 2. 提出物の取扱いについて

全ての提出物は、クラウドストレージ（Dropbox）を利用してアップロードしていただきます。利用方法はエントリー後にメールでお知らせします。

(1) 「論文データ」（提出期限：令和8年10月30日（金）厳守）

(2) 「ステージ発表データ」（提出期限：令和8年11月15日（日）厳守）

- ・提出のファイル名には、部門名の記載をお願いします。
- ・PowerPoint に動画を使用する場合は、ファイル名に「動画あり」と記載してください。
- ・Mac で作成したデータは、ファイルが開けないことがありますのでご注意ください。

(3) その他事前提出書類（提出期限：令和8年11月30日（月）厳守）

① 「AIT サイエンス大賞参加者名簿及び電源調査」

来校者全員（見学者等含む）の名簿の提出をお願いします。変更が生じた場合は、当日受付時に申し出てください。

パネル展示発表時の電源調査もご記入ください。

② 「銀行口座振込依頼書」

副賞は高等学校代表口座に振り込みますので提出をお願いします。PTA等の口座でも結構です。

③ 「通帳表紙裏面コピー貼付書」

金融機関の編成等が進む中で、銀行名や支店名又は口座番号の誤りがありますと、副賞の振込ができない場合がありますので、ご提出にご協力ください。

（通帳がない場合はATMカードの写しで結構です）

1 3. その他

下記①～④案内資料は、11月末（予定）にメールでお知らせします。

① AIT サイエンス大賞発表当日の案内について

- ・AIT サイエンス大賞発表当日について
- ・AIT サイエンス大賞ステージ発表スケジュール表
- ・受付整理番号

② 愛知工業大学（八草キャンパス）までのアクセスは、ホームページの交通アクセスでもご覧いただけます。シャトルバスの運行はAダイヤです。

- ③ 研究発表当日の昼食は主催者で準備します。受付で来校者分の食事券をお受け取りください。なお、アレルギー内容は献立が決まりしだいお伝えしますので、ご対応は各自お願いいたします。
- ④ 各会場の詳細（ステージ発表の座席表（座席制限あり）、パネル展示設置場所、中継会場等）は、後日お知らせいたします。
- ⑤ 大会結果は、後日メールでお知らせします。表彰状・盾（最優秀賞のみ）は郵送し、副賞は高等学校代表口座に振込みます。
- ⑥ 上記のほか、大会に関する事項については主催者の指示に従ってください。

論文の書き方(AIT サイエンス大賞応募論文フォーマット)
<自然科学部門・ものづくり部門>

論文題目名 ○○○○○○ * (センタリング太字 14pt) 論文提出後は変更不可
論文制作者名 高校名 ※(右詰太字 10.5pt)
 クラブ名 生徒名(全員)
 指導教諭名(全員)

* (各見出しは左詰太字 12pt) * (本文は標準 10.5pt)

1. **はじめに** 研究背景・課題・動機など興味を持って読める内容
2. **目的** どういう研究をするのかを明確にする
3. **研究の内容**
4. **(実験)(観察)(製作)の方法**
5. **(実験)(観察)(製作)の結果**
6. **考察** 感想ではなく、今後の課題、問題点など、論理的な考え方で示す
7. **おわりに** まとめ・結論・総括など

(参考文献) 参考資料を必ず掲載

- 1) 著者名・発行年・タイトル・出版社
- 2) 著者名・発行年・タイトル・URL・アクセス年月日
- 3) 著者名・発行年・記事名・雑誌名・号数・出版社

※ A4 縦、横書き 45 字×40 行 7 ページ以内(図表含む) フォント:10.5pt

<アドバイス>

- 取り上げたテーマに取り組む意義・目的・理由や独自性など分かりやすくまとめる。
- 過去に類似の研究、テーマを行っている場合や継続的な研究の場合、その経過や既発表との違いを明らかにする。
- グラフで示すときには、縦軸、横軸が何を意味するのか、単位を含めて明記し、一つのグラフに複数のデータを記載しない。
- 写真やグラフは、微妙な差異であれば当該箇所を拡大したり、変化が数行にも及ぶときはlog化するなどの工夫をする。

論文の書き方(AIT サイエンス大賞応募論文フォーマット)
<社会科学・地域づくり部門>

論文題目名 (14pt 太字・中央配置) ここにタイトルを入力 (提出は変更不可)

論文制作者名 高校名 ※(右詰太字 10.5pt)
クラブ名 生徒名(全員)
指導教諭名(全員)

※(各見出しは左詰太字 12pt) ※(本文は標準 10.5pt)

1. **はじめに** 研究・活動の背景、地域課題、研究の意義を記述
2. **目的** 研究・活動の目的を明らかにし、継続研究の場合は、これまでの研究・活動の内容(簡潔)と差異及び本年度の新規点を記述
3. **研究・活動の目的を果たすための調査・活動方法(計画)**
調査対象、調査・活動方法及び計画、実施時期、分析方法、外部機関との連携内容・支援内容(データ提供、場所提供、技術支援など)等を記述
5. **調査・活動の実施内容と成果**
グラフ・表・図を用いて整理、客観的事実を中心に記述、数値・単位の明記
6. **考察** 得られた結果の解釈、研究・活動についての想定(計画)と結果の比較対照などを察し、継続研究の場合は、昨年度以前との違い課題(問題点)の抽出、改善策(提案)を記述
地域社会に関わった報告や提言などに関する科学的な調査・研究とその成果などを含める
7. **おわりに** 本研究の意義、今後の課題と展望、参考文献など記述
(参考文献) 参考資料を必ず記載
 - 1) 著者名・発行年・タイトル・出版社
 - 2) 著者名・発行年・タイトル・URL・アクセス年月日
 - 3) 著者名・発行年・記事名・雑誌名・号数・出版社

※ A4 縦、横書き 45 字×40 行 7 ページ以内(図表含む) フォント:10.5pt
図表の文字は最低 9pt 以上

<アドバイス>

- 研究や活動の内容は、数字やデータを使って、だれが読んでも分かるように整理する。アンケートや公的な統計をもとに、課題を“客観的に”“論理的に”まとめる。
- 研究・活動の在り方は、基本的に、仕事の手順としての PDCA 即ち P(Plan 計画) D(Do 実施・結果) C(Check 結果の点検、評価、解釈) A(Action 改善)を想定する。P は論文の 4.「研究・活動の方法(計画)」、D が論文の 5.「研究・活動の内容とその結果」、C と A が論文の 6.「考察」に相当する。
- 継続研究の場合は必ず次を記述する
 - ・昨年度(以前)までの研究・活動の内容(簡潔に)
 - ・本年度の研究目的本年度で新しく行った内容(新規点)
 - ・本年度に得られた成果(昨年度との差異)今後の予定・発展性
- グラフ・図表は、文字 9pt 以上、図表番号、グラフ・図表の意味も含め単位を明記する。
- 本研究と参考資料との違いを明確にし、独自性を明らかにする。

主 催

愛知工業大学

共 催

中日新聞社

後 援

愛知県教育委員会 岐阜県教育委員会 三重県教育委員会 静岡県教育委員会
長野県教育委員会

問い合わせ先

電話：0565-48-8121 愛知工業大学エクステンションセンター

受付時間：平日 9：30～16：30

E-mail：science@aitech.ac.jp